

基本施策 1-③ 循環型社会の推進

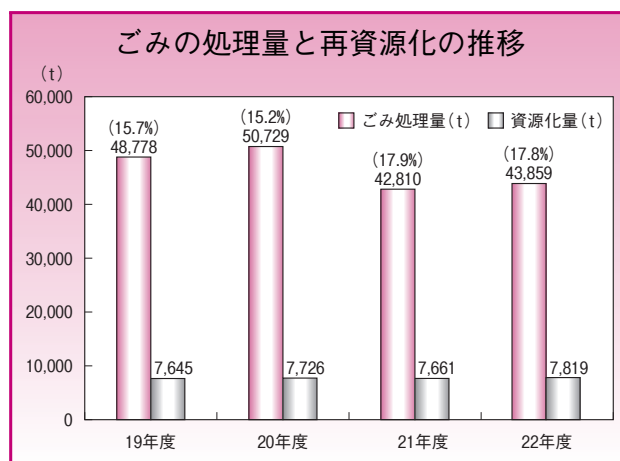
現状

経済活動の拡大や生活様式の多様化により、ごみの排出量の増加や廃棄物問題が深刻化する中、資源の「3R*」(リデュース、リユース、リサイクル) に対する社会の関心は高まっています。

本市においては、ごみの排出抑制や再生利用の推進、排出量に応じた負担の公平化及び市民のごみに対する関心を高めることを目的に、平成21年4月から家庭系ごみの有料化を開始し、また、市民の協力のもと、ごみ分別の徹底を進めてきました。

こうした中、環境への負荷軽減と自然との共生を掲げ、平成21年6月に那須塩原クリーンセンターが本稼動し、焼却エネルギーの活用や発生する焼却灰の資源化を進め、環境負荷の低減に努めています。

今後も、環境に負荷の少ない循環型社会*を構築していくため市民や事業者への意識の啓発やごみ分別周知徹底とともに、ごみの減量と資源化を推進する必要があります。



※ () はリサイクル率

課題

「3R」の推進

目指すべき方向

(1)ごみの減量・資源化の推進

基本施策 目標指標

市民満足度

基準値 (平成22年度)

47点



目標値 (平成28年度)

52点

※市民満足度は、「満足している」100点、「やや満足している」75点、「どちらともいえない」50点、「やや不満である」25点、「不満である」0点とした時の全回答者の平均得点

■個別計画……一般廃棄物処理基本計画 (平成19年度～平成31年度)
分別収集計画 (平成23年度～平成25年度)

* 3R：廃棄物の発生抑制 (リデュース)、再利用 (リユース)、再生利用 (リサイクル) のこと。

* 循環型社会：生産や流通、消費、廃棄という社会経済活動の全段階を通じて、再資源化やエネルギーの効率化を進め、環境への負担をできるだけ軽くしようとする循環を基本とした社会のこと。

具体的な施策

(1)-1 ごみの減量化・資源化

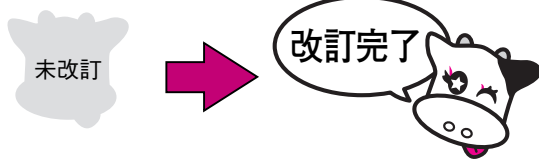
一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの減量や資源化を推進し、環境への負荷を低減し、資源の有効活用を目指します。

主要事業 一般廃棄物処理基本計画改訂事業
(平成24年度)

目標値 一般廃棄物処理基本計画改訂

現状(平成22年度)

目標(平成28年度)



(1)-2 ごみの減量への意識啓発

ごみに関する情報提供の充実を図り、ごみに対する意識の啓発に努めます。

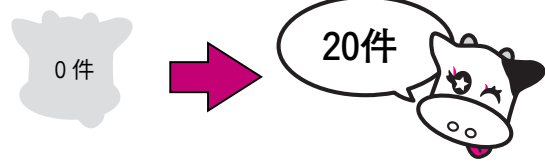
ごみの減量化に寄与する事業所等の顕彰を行います。

主要事業 ごみ減量等協力事業所認定
及び顕彰事業

目標値 事業所等の顕彰件数

現状(平成22年度)

目標(平成28年度)



(1)-3 ごみ処理施設の管理運営等

那須塩原クリーンセンターの適切な管理に努めます。

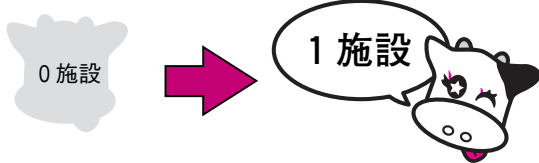
旧清掃センター（黒磯清掃センター、西那須野清掃センター、塩原クリーンセンター）の解体を計画的に進めます。

主要事業 旧清掃センター解体事業

目標値 旧清掃センター解体施設数

現状(平成22年度)

目標(平成28年度)



自然と共生する
まちづくり

快適で潤いのある
まちづくり

健やかに安心して暮らせる
まちづくり

安全で便利な
まちづくり

活力を創出する
まちづくり

豊かな心と文化を育む
まちづくり

創意と協働による
まちづくり